家族みんなで考えよう！
避難の前にやっておきたいコト

① 準備

減災の第一歩は日頃の備え！家庭で防災会議を開きましょう！

災害が発生したとき、あわてずに行動できるように次のことを話し合いましょう。



□近くの避難場所・避難ルートの確認
　実際に家族で歩いて確認しておきましょう。

□家族との連絡方法の確認
　災害伝言ダイヤル、災害用伝言板(※)などの利用方法を確認しましょう。

□防災グッズの確認
　避難時に必要なものをバッグにまとめておくなど準備をしましょう。

※携帯電話などの通信事業者が提供するサービス

② 情報収集

気象情報に敏感になる！

災害に関する的確な情報（気象情報や被災情報など）を収集・分析･伝達することにより、素早い対応ができ、被害を最小限にとどめることができます。

□テレビ・ラジオ
　地域情報を確認できます。

□気象庁ホームページ
　注意報・警報、雨雲の動きを確認できます。

□北海道防災ポータル
　緊急情報、避難所情報などが確認できます。

③ 避難

不安や身の危険を感じたら早めに避難しましょう！

避難するときは戸締り・火の元の確認を忘れず、数人でまとまって行動を。
お年寄りや子ども・体の不自由な方などの避難に協力しましょう。

□自主避難
　不安や危険を感じる場合に自主的・一時的に避難するものです。
　近くの親戚・知人宅など連絡をとってから避難しましょう。

□避難情報による避難
　避難情報とは、人的被害の危険性が高まった場合に町から提供される情報です。開設される避難所を確認して避難しましょう。

羽幌町の防災総括専門員に聞きました！「起きてからでは遅い！日頃の備えを！」



岩佐 明彦 さん

日本は災害大国と言われていて、毎年のように各地で災害により多くの方々が被災しています。羽幌町は今まで大きな災害はなかったから大丈夫ということは誰にも言えません。地球温暖化の影響もあり、台風や線状降水帯の発生数も増加、それに伴う災害も増える傾向にあります。

そんな中、羽幌町としても住民の命や財産を守るために日頃からの備えをしていく必要があります。そのひとつが今回の防災訓練です。今年は、前回の約２倍の300人に参加いただきましたが、羽幌町の災害リスクである突発型災害の地震･津波による住民の対応、特に避難行動については課題が多くあると感じています。

万が一、自分に災害が振りかかったときにどのように行動したらよいか、イメージはできていますか？尊い「命」を守るために！まずは、自分の家、職場等のハザードマップを使い、避難経路や避難場所を確認してください。そして避難するときに持参するものを準備しておきましょう。

災害から「命」を守るための相談を受けてアドバイスしたり、皆さんの職場などへ出向いて防災教育を行うこともできますので、気軽に声をかけてもらえればと思っています。

今月のTopic
最近キニナルあれこれをご紹介

防災訓練を実施しました！

９月27日に、中央公民館とその周辺で実施した今年の防災訓練。

今回は、北海道北西沖を震源としたマグニチュード7.8の地震が発生し、本町において震度６強を観測。その後、津波が発生するという想定で実施。防災インフォはぼろや消防スピーカー、役場の広報車等で避難を呼びかけ、職員による誘導も行いました。

訓練中は、時折小雨が降るなど少し肌寒い天気でしたが、一昨年の訓練の参加者数を上回る多くの皆さんにご参加いただきました。ご協力ありがとうございました！



北留萌消防組合消防署・羽幌消防団による放水訓練







羽幌町赤十字奉仕団・陸上自衛隊によるカレーライスの炊き出し訓練



職員もおいしく頂きました！



段ボールベッド・簡易トイレの組立体験



非常食の試食体験

森町長・三浦副町長も試食しました！



消火器体験



留萌海上保安部・ヤマト運輸株式会社による物資輸送訓練





スタンプラリー形式でたくさんのブースを体験してもらいました！

大地震や豪雨などの自然現象は、人間の力ではくい止めることはできませんが、災害による被害は、日頃の努力によって減らすことができます。

●自分の身は自分で守る **自助** ●地域や周りにいる人たちと助け合う **共助** ●公的支援の **公助**

この3つが連携することで、災害による被害をできるだけ少なくする「減災」の大きな力となります。いざという時は、誰もが、助け、助けられる立場になる可能性があります。日頃から、「自分でできること」や「家族やご近所とできること」などについて考え、災害に備えることが大切です。